

2024年度 ひとつづくり委員会 年間事業報告

担当副理事長	菅原 京子	委 員 員	土谷 康太郎
委 員 長	伊藤 慶紀		加藤 有紀（賛助）
副 委 員 長	若松 麗子		伊藤 孝太（賛助）
幹 事	田中 吾須雅		佐藤 蒼一郎（賛助）

1年を終えて

<委員会総括>

今年度のひとつづくり委員会は「若者は宝！～私たちが魅せる、希望に満ち溢れた横手を～」をテーマに掲げ、若者たちが横手に希望を持つための育成事業を展開いたしました。

各例会を通して、若者たちに横手の明るい未来を感じてもらい、その明るい未来に期待を持ってもらうことのできる事業を行ってまいりました。事業を構築するうえで大きな課題となったのが予算でした。委員会内で予算を増やすための方法を検討し、実行したことで、ひとつづくり委員会として年初より計画していた事業を実施することができました。当初予算 350,000 円から補助金や協賛金により 1,370,000 円まで予算を増やすことができました。最終決算が 145,856 円のプラスとなり、今後も当会が事業を継続していくための新たな手法を構築することができたと考えます。

次代を担う若者たちへ我々が行った3つの事業により、希望に満ち溢れた横手を魅せることができました。

<SDGs>

【11】住み続けられるまちづくりを

2月例会では、デジタルの革新によって「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す1歩を参加された方々と学び、共有することができました。

【17】パートナーシップで目標を達成しよう

2月例会を協働開催としたことで、私たちだけでは集客のできなかった若者へも参加を募ることにつながることができました。

5月例会では事業前に横手市生涯学習課の方々へ事業プレゼン、起業ボードゲームの体験を行ったことで、例会にご参加いただくことができました。その結果、起業体験ボードゲーム「コドモ社長 vs オトナ社長」を横手市の施設で活用いただけることになりました。

9月例会では、出店ブースの企業、団体と新たなパートナーシップを構築できたことで、子どもたちに対し、未来に希望を抱くための経験をしていただくことができました。

各例会を通して、更なるパートナーシップ強化を図ることができ、今後も当会に対して協力をいただける関係性強化につながることができました。

【4】質の高い教育をみんなに

5月例会に対する想いを講師に賛同いただいたことで、多大なる協力を賜ることができ、参

加した子どもたちに質の高い教育を届けることができました。

9月例会では、横手の企業、団体を中心に、出店、協賛をいただいたことで多くの子どもたちに横手の秀でた食材、学び、ものづくりの魅力を届けることができました。

<運動指針>

【青少年の育成1・2】

これからの横手市を担う若者たちへデジタル革新による横手の明るい未来を感じていただき、私たちの感度や情報力を活かした起業の難しさや挑戦する楽しさを学ぶ場を提供することができました。

私たちの姿をみて、私たちと共に横手の課題解決に向け、行動できる人材の育成につながる事業を展開することができました。

■2月例会「デジタル社会を学ぼう！～日本の主役になる横手のために～」について

デジタル社会の第一線で活躍している日本マイクロソフトの河野省二氏より講演を行っていただきました。これまでのデジタル社会について学び、デジタル革新による、これからの明るい横手を感じていただくことにつながる事業となりました。KPIについて学生、一般参加者50名の目標に対し26名に留まりました。しかし、SNSやメディアでの発信により、集客につなげることができ、事業を直接伝えることが難しい世代や若者世代などSNSやメディアでの発信は幅広く事業告知ができると再認識できました。その結果、自らが行動を起こし、デジタル化に取り組みたいと思う参加者が90%程となるアンケート結果を得ることができました。

■5月例会「子ども社長アカデミー～起業ゲームで夢を現実にしよう～」について

講演と起業体験ボードゲームを参加者全員で行ったことで、子どもたちが楽しく起業家精神を養い、将来に必要な創造力や課題解決力を高めてもらうことができました。また、将来の夢や目標のために挑戦する力を育み、社会に貢献できる人材を育成することができた事業となりました。KPIについては、一般参加者40名の目標に対し42名に参加いただくことができました。横手市内の小中学生へ1人1枚チラシを配布し、親子参加を募ったことで「子どもが興味を持ち参加した」「親が興味を持ち、子どもと参加した」という親子どちらにも興味を引くことができたことで目標達成の要因となりました。また、事業に参加された大雄小学校校長の大石様より事業に対して高い評価をいただくことができました。事業後に横手市教員の研究団体と起業体験ボードゲームの実施、情報交換会の依頼をいただき、教員の方々との関係性をより強固なものにすることができました。

■9月例会「わくわく秋フェスタ～食べて学んで体験しよう～」について

一般参加者の多くが親子連れ、小中高生を中心とした子どもたちで、レストランブース、体験ブース、将来の夢や希望発表ブースを通して賑わいを創出し、横手の魅力を感じていただくことができました。会員や特別会員の方々のご協力により目標額を超える協賛金が集まり、次代を担う子どもたちに無料で飲食、体験、講演を提供することができました。我々の姿を通して未来に希望を抱き、横手のために行動できるような意識を高めるための人材を増やすことに

つなげることができた事業となりました。KPIについて一般参加者 300 名の目標に対し、約 600 名にご参加いただくことができました。参加者の多くが家族連れや小中高生でレストランブース、体験ブースで横手の魅力を感じていただくことができ、事業趣旨に多くの参加者が賛同いただけた結果となりました。

■職務分掌

①果敢な挑戦を許容し支援を促すひとづくり事業の実施

2月例会、5月例会、9月例会にて若者を中心とした人々の果敢な挑戦に対し、我々が行った事業により最大の支援を行うことができました。

②挑戦へ向かう能動的人材の発掘・育成・発信

5月例会にて子どもたちを対象とした起業家精神を養う事業を展開し、将来のために挑戦する力を育み、社会に貢献できる人材の育成につなげることができました。

③徹底した事業ブランディングの構築

各例会の参加者を募るために、例年行っていたチラシ配布の他に多くの人々へ事業を伝える手段として SNS 有料広告を実施しました。9月例会では SNS 有料広告が最大の集客効果を生むことができ、新たな集客手法を確立することができました。

④主体的な活動を前提とした人材開発への参画

9月例会では、会員候補者に事業へ参画していただいたことで、横手青年会議所の存在意義を体感していただくことができました。入会への意欲向上につながる活動となりました。

⑤ひとづくり事業に関する他団体との連携

各例会を通して、横手市や横手の企業、団体と連携して事業を実施しました。横手市では 5月例会で使用した起業体験ボードゲームを活用いただき、市民が継続して利用できる場を提供していただいております。

⑥その他渉外に関すること

例会や他 LOM との連絡を滞りなく行いました。

⑦日本 JC 協働運動に関すること

本年度、当委員会での実施事項がありませんでした。

事業報告

事業開催日	事業名	開催場所
2月10日	2月例会「デジタル社会を学ぼう！～日本の主役になる横手のために～」	横手市交流センターY2 ぶらざ オープンスペース
5月26日	5月例会「子ども社長アカデミー～起業ゲームで夢を現実にしよう～」	横手市交流センターY2 ぶらざ 研修室3
9月16日	9月例会「わくわく秋フェスタ～食べて学んで体験しよう～」	横手市交流センターY2 ぶらざ にぎわいひろば・オープンスペース

会議報告

会議開催日	会議名	開催場所
2023年10月24日	第1回委員会	よこてシャイニーパレス
11月15日	第2回委員会	飲食店 クラーケン
12月5日	第3回委員会	オンライン (Zoom)
2024年1月17日	第4回委員会	オンライン (Zoom)
1月22日	第5回委員会	横手商工会議所3階 会室
2月9日	第6回委員会	Y2 ぷらざ オープンスペース
2月13日	第7回委員会	飲食店 とらパンチ
2月27日	第8回委員会	飲食店 とらパンチ
3月15日	第9回委員会	飲食店 とらパンチ
4月26日	第10回委員会	横手商工会議所3階 会室
5月15日	第11回委員会	Y2 ぷらざ 研修室3
5月23日	第12回委員会	飲食店 とらパンチ
6月14日	第13回委員会	飲食店 とらパンチ
7月2日	第14回委員会	飲食店 とらパンチ
7月18日	第15回委員会	飲食店 とらパンチ
8月1日	第16回委員会	飲食店 とらパンチ
8月26日	第17回委員会	横手商工会議所3階 会室
9月10日	第18回委員会	飲食店 SUNLDK
10月17日	第19回委員会	飲食店 とらパンチ
11月22日	第20回委員会	飲食店 とらパンチ